

令和7年度 第2回 北陸地方整備局新技術活用評価会議 を開催します ～公共事業等の新たな技術の活用と普及にむけて～

北陸地方整備局では、公共工事等への有用な新技術の活用促進を図ることを目的として、「令和7年度 第2回北陸地方整備局新技術活用評価会議」を開催します。

なお、審議する案件は下記に示す事後評価3件並びに有用な技術の選定、推奨技術候補の選定となります。

1. 開催日時 令和7年11月21日（金） 14:30～16:30
2. 開催場所 北陸地方整備局 4階 共用会議室
3. 議 題
 - (1) 事後評価（審議）
 - 1) 草刈り・伐採用小型油圧ショベルアタッチメント「T・トリマー」
QS-200036
 - 2) ロックル CG-230002
 - 3) G-スクライト工法 HK-240021
 - (2) 活用促進技術の指定（審議）
 - 1) 草刈り・伐採用小型油圧ショベルアタッチメント「T・トリマー」
QS-200036
 - 2) ロックル CG-230002
 - 3) G-スクライト工法 HK-240021
 - (3) 令和8年度推奨技術候補の選定（審議）

※ 技術について詳しくは、NETISホームページをご覧ください。
(NETIS HP: <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>)

4. 留意事項
 - ①報道関係者は、腕章又はネームプレート等（報道関係者と判断できるもの）の着用を必ずお願いします。
 - ②取材・撮影は評価会議冒頭の「座長挨拶」までとし、審議中の取材・撮影はご遠慮願います。
5. その他 評価会議における評価結果および活用促進技術の指定の結果は、会議後必要な手続きを経て、後日上記HPに公表します。

【同時発表記者クラブ】

新潟、富山、石川県内

その他・専門紙



問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局

TEL: 025-280-8880（代表）

企画部 施工企画課長 姫野 利宗（内線 3451）

■令和7年度第2回新技術活用評価会議 審議技術一覧表

No.	区分	技術名称	開発年	登録年度	登録番号	分類	申請従来技術	技術概要	説明写真	開発会社 (会社所在地)
1	事後評価	草刈り・伐採用小型油圧ショベルアタッチメント「T・トリマー」	2019	2020	GS-200036-A	河川維持 ー 堤防除草工 ー 除草工	肩掛け式草刈機	本技術は、河川、道路、公園等の除草工に関する技術である。草刈りや伐採などを行う小型油圧ショベル用アタッチメントで、従来は、肩掛け式草刈機で対応していた。本技術の活用により、斜面や法肩での除草や枝払いも安全かつ効率的に作業を行うことができる。		徳光建機株式会社 (〒639-0242 奈良県香芝市北今市7-350-1)
2	事後評価	ロックル	2014	2023	CG-230002-A	河川海岸 ー 多自然型護岸工 ー ブロック積(張)工	間知ブロック張	本製品は胴込コンクリートが不要な1.0m2/個の大型ブロック張で、従来工法は間知ブロック張で対応していた。ブロックの大型化、胴込コンクリートの打設不要により工期短縮が可能である。		株式会社イズコン 技術開発部 (〒693-0011 島根県出雲市大津町1778-1)
3	事後評価	G-スクライト工法	2021	2024	HK-240021-A	付属施設 ー 区画線工	人力による墨糸を使用した作図作業	本技術は光のパターンを路面に投影し、瞬時に区画線の所定位置を可視化する技術であり、従来は人力による墨糸を使用した作図作業で対応していた。本技術の活用により罫書作業が不要となるため、経済性、工程、安全性、施工性の向上が期待できる。		北海道技建株式会社 工務部 (〒047-0261 北海道小樽市銭函3丁目519-12)